



映画とお話しの夕べ

在日朝鮮人「慰安婦」^{ソンシンド}宋神道のたたかい

オレの心は 負けてない



監督：安海龍
プロデューサー：梁澄子
撮影：梁澄子、安海龍、朴正植
音楽：張在孝、孫晟勳
歌：朴保
ナレーション：渡辺美穂子
(2007年/カラー/95分)

「人の心の一寸先は闇だから。オレは絶対、人を信じない」人間不信の塊だった元日本軍「慰安婦」・宋神道さんは、裁判を闘う中で支援者と共に泣き、笑い、信頼関係を築いていった感動のドキュメンタリー。裁判は、2003年3月最高裁上告棄却。敗訴確定。しかし、宋さんは言う。「裁判に負けても、オレの心は負けてない」。

そんな気丈な宋さんが今度の東日本大震災に宮城県女川町で被災、一週間消息不明だった。そこで、彼女を支えてきた「支える会」の木野村さんたちは仙台に駆けつけ、無事宋さんを救出。宋さんがどのように生き延び、感じ、考

えているか、木野村さんからお話を伺います。宋さんを通して「慰安婦」被害の実態、彼女の生命力と尊厳の回復を感じ、「慰安婦」問題を考える機会にしてほしいと思います。



◀2011年5月21日 全国行動2010の交流会で元気な姿をみせた宋神道さん。(東京)

日・時

2011年 **8** 月 **2** 日 (火)
開場 18:00 開演 18:30 終了 21:00

ところ

日本基督教団警固教会

福岡市中央区警固2丁目11-20
(地下鉄「赤坂駅」より徒歩9分)

お話し

木野村照美さん(在日慰安婦裁判を支える会)

「震災を生き延びた宋神道さんに寄り添って」

参加費

1000円

▶アクセス



共催

早よつろう！「慰安婦」問題解決法・ネットふくおか
「慰安婦」問題と取り組む九州キリスト者の会
戦後責任を問う・関釜裁判を支援する会

連絡先

TEL092-713-1879 (花房)
TEL092-812-2758 (池田)

元慰安婦の宋さん無事

女川で被災 愛犬が救う



無事が確認されて保護された元慰安婦の宋さん。20日、仙台市内（在日の慰安婦裁判を支える会提供）

戦時中、旧日本軍の元慰安婦だった宮城県女川町の在日韓国人、宋神楽さん（88）が東日本大震災の避難

所で無事見つかり、20日、東京都内の施設に保護された。宋さんは在日韓国人でただ一人、元慰安婦だったことを名乗り出していて、慰安婦問題に取り組む国内外の支援者が安否を気にしていた。宋さんから聞き取りをした「在日の慰安婦裁判を支える会」によると、11日の地震発生直後、借家住まいの宋さんを民生委員が訪問。津波を警戒して近くの集会所に避難するよう促したが、宋さんが愛犬「マリコ」を連れ出すのに時間がかかった。その間に水が押し寄せてくるのが見えたた

め、あわてて高台に移動。高齢で足も弱っているが、はだして逃げ出した。当初避難しようとした集会所は津波に流され、愛犬に救われた形となった。高台の知人宅に一時避難し、翌12日、近所の男性が代わる代わるおんぶして避難所に移った。

避難所にいることが確認されたのは18日。健康状態は良好だ。避難所ではマリコを外に出され、寂しい思いをして、犬だという。同会の梁道子さんは「戦時中に想像を絶する被害を受けながらも生き抜いた宋さんの生命力の強さをあらためて感じた。近所の人たちの善意にも感謝したい」と話している。

宋さんは韓国忠清南道出身。1938年にだまされ、朝鮮半島から中国の前線に送られた。7年間の慰安所生活を送った後、日本で生活してきた。日本政府相手に謝罪などを求めて提訴し、敗訴が確定したが、各地の集会で「二度と戦争をしてはいけない」と繰り返し発言、広く共感を呼んでいる。

共同通信 3月20日
配信の記事が
載りました。